



加藤 一郎
グリーン企画(株)
会長

略 歴	
1971年	千葉大学園芸学部生産管理学科卒業、同年JA全農入会
1983年	米国全農燐鉬(株)副社長、肥料農薬部部長、総合企画部部長を歴任
2002年	JA全農常務理事
2005年	JA全農代表理事専務
2011年～16年	同退任、(株)ジュリス・キャタリスト代表を経て、グリーン企画(株)会長
主な兼職等	(独)農畜産物振興機構評価委員、NPO植物工場研究会特別研究員・理事
	千葉大学附属病院学外有識者委員、同大学園芸学部同窓会会長他

自己紹介(活動実績)

JA全農を退任後、法律と農業の専門家からなる農業法務研究会座長として2013年に医・農・法連携による「薬草産業の将来展望」のシンポを主催し、その際に渡辺先生との知己を得ました。現在、千葉大学校友会副会長、同園芸学部同窓会会長として大学との共同研究を推進しています。また、(社)漢方産業化推進研究会顧問、富山県薬用作物実用化研究会委員等を通じて、産官学連携による薬草産業化に向けて活動しています。著書「帰りなんいざ 田園まさに荒れなんとす」現在、農業協同組合新聞でコラム「先の先」を連載中(電子版Jacom参照)。

専門分野(keyword)

植物工場の設置運営支援、薬草栽培、薬草等を核としたコンソーシアム形成による産業化支援、補助金、助成金申請支援

研究会に期待すること

時代の潮流は医農連携。研究会を通じて自社の自賄主義から産官学連携、コンソーシアム形成による総合力を発揮し、地方の活性化をはかる場としたい。